

世界へ松濤中生 (Achieve a role in the global community)

自立 (Grow) 尊重 (Respect) 創造 (Create)

学校だより

■HP,Address

<http://academic1.plala.or.jp/shoto/>

■発行
渋谷区立松濤中学校
渋谷区松濤1-20-4
■代表電話
TEL 03-3469-2451, 2452
■発行責任者

校長 斉藤 茂好

NO. 1

4/11

平成28年度



今月の内容

【1面】

■PHOTO SKETCH

よろしく願います

■校長メッセージ 入学式式辞

【2面】

■教職員紹介

新入生へのメッセージ (入学式式辞より)

アドルフポルトマンという動物学者がいます。彼は、人間はもともとから早産で生まれてきたという説を立てました。人間は脳が過剰に大きくなったため、骨盤がその大きさに耐えられない。だから、脳が小さい内に、1年くらい早産で生まれてくるというものです。つまり人間はみんな未熟児で生まれてくるわけです。しかし、これをポルトマンは、悲観的に考えません。この1年分は、外界に飛び出て、社会の中で育つとポルトマンは考えました。早産した分、人間の子供は、さまざまなことを社会の中で学ぶということです。それゆえに、人間は文明を持ったり、文化を有したという訳です。牛や馬の子供は、母胎から生まれ出て、すぐに自力で立とうとする。数時間も経たないうちに、“自立”する。生まれた直後に自立的に自分で動ける。このことが意味しているということです。ところが人間は放っておけばすぐに死んでしまうほどに自立出来ない。お父さんやお母さんだけではなく、おじいちゃん、おばあちゃん、親戚の人々、保育園の先生、近所の人々、買い物先の店員、その他たくさんの人々に世話になってやっと歩き始めます。つまり、直接の父や母ではない、家族ではない多くの経験を持つ人たちの世話になりながら育ちます。いわば、人間は社会が育てるのです。したがって、動物の社会は親の社会を繰り返し模倣しているだけです。動物には、人間のように社会に変化がない。歴史がない。発展がない。動物の場合は親を見れば子供が解る。子供を見れば親が解る。しかし、人間の親子は動物の親子のように単純な関係にはありません。

さて、みなさんは、もはや小学校を卒業して、今日から義務教育の最後中学生となりました。中学校を卒業する3年後は、実社会で生きて抜いていく能力を身につけていなければならない。少なくとも身体は立派に大人になっている。自分だけの自我が芽生え意識されてくる。親に口答えしたり、反発する気持ちが出始めるのもこの季節です。独り立ちするということは、一般的には良いことのように思われていますが、私はそうは思いません。自分だけの力で生きている人というのは、別の言葉で言い換えれば、誰の言うことも聞かないひとりよがり状態だということです。自分しか自分の支持者でない状態だということです。これは悲劇です。一人で生活しているのではないとは、一見不自由なことのように見えますがそうではありません。自分に関わる様々な人たちとの“関わり”が物事を考えたり、考え直したり、そして深く考えたりするチャンスを生んでいるのです。人間はうるさく言ってくれる人がいるからこそ、成長します。他人の言うことを聞くということは何かの制約のように思うかもしれませんが、それは他人の経験分が自分の生

き様に付け足されていくことなのですから、自分がさらに大きくなることだと思えばいいわけです。自分の考えと違う人間がうるさく言うときほど、大きくなれると思えばいい。それを「成長」と言います。

今日の情報化社会は簡単に膨大な情報が手に入ります。かつての自立した大人や組織が何年何十年かけても手に入らない知識や情報が簡単に個人のレベルで手に入る。何もしないでも“自立”したような気になる。そして人間が「学校」というものをもつということ。それは安易な自立の道を選ばずにまず勉強しなさい、自分が未熟であることを自覚しなさいということの意味します。われわれ学校関係者はみなさんがまだ社会的な幼児にしか見えない。「勉強しなさい」というのはまだ勝手に自分で考えてはいけませんということの意味しています。自立していないあなた達に一番うるさいのはまさに「学校」であるべきと考えます。「勉強」が存在する、「学校」が存在するというのは人間が早産である証です。学校の勉強が長く続く社会はそれ自体が高度な社会であることの証です。最近「生涯学習時代」と言います。もはや人間は死ぬまで早産状態であるほどに、文明を高度化してきているとも言えます。本当の自立は死ぬまで延期されているように高度化しているということです。子供が親や家族や近所の人、つまり血縁、地縁を超えて「先生」や「学校」に学びながら成長すること。これこそが高度な文明や社会、そしてまた高度な人材を築く基礎です。教科書や教材、そしてカリキュラムは、まだまだ社会に出るにはたくさんの勉強があるということ、あなたがたがどこまでも早産の未熟児であることを告げる役目を果たしています。若いときは生意気になって、ついつい自立したがる、何かを知ったような気になる、親なしでも生きていけるような気がするものですが、私たち学校の先生は、みなさんの生意気な自立志向をくじき、まだまだ学ぶべきことがたくさんあるよ、と言い続けることだと思っております。

私のみなさんへのお願いは、そんなことがあるのか、こんなこともあるんだという驚きと自分の無知を恥じることの連続である“謙虚な”中学校生活を送ってもらいたいということです。皆さんの学校選択が正しかったことを証明するのが、これからの私どもの仕事と思っています。ぜひ期待してもらいたいと思います。松濤中学校の先生たちは、いつも最高度にブラッシュアップした状態でみなさんを待ちかまえています。ぜひしっかりと勉強をしてもらいたいと思います。本日入学した皆さんが、卒業時にはそれぞれの「夢に向かい」そろって旅立つことが出来るよう祈念して、式辞といたします。



教職員紹介



校長 斉藤茂好
 副校長 久保田啓介
 主幹教諭 杉本 卓(教務主任) 大内弘全(生活指導主任)
 徳植正喜(進路指導主任) 岸田純子(研究主任)

<第1学年> 2学級

名 前	担任	教科	分掌
岸田純子	副	英	進路
角田晃一	1A	理	教務
大内弘全	1B	社	生活
東 拓朗	副	美	生活
山本貴子		養	生活
Hinkinson Charlotte		ALT ALT	

<第2学年> 2学級

名 前	担任	教科	分掌
竹田美佳子	2A	音	生活
安部雄太	2B	体	進路
杉本 卓	副	数	教務
石井 誠	副	英	教務
Tyler		英	

<第3学年> 2学級

名 前	担任	教科	分掌
滝澤明美	副	国	教務
前川卓哉	3A	英	生活
安江亮佑	3B	国	進路
後藤郁夫	副	理	教務
徳植正喜	副	技	進路
Nick		ALT	

※ ☐ …学年主任 *保健主任……山本貴子 *スクールカウンセラー…菅 雅子 坂口和絵

<事務> 事務主査 松野誠一 主任主事 戸澤康博	<用務> 技能主任 古川清 技能主任 菊島栄子 <調理> 技能主任 西野 暁 技能主任 武者マナミ 技能主任 清水俊之
<講師> 前澤洋一(社会) 田中公詞、相馬 翔(数学) 鈴木寿子(理科) 壬生順子(家庭) 高橋平之助(保体)	